

小海高等学校生活指導係発行

生徒の言動で学校の評価が変わる！

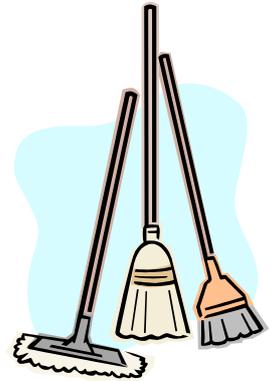
先週の木曜日、本間川の信号で立ち番指導をしていたところ、女性の方に声をかけられました。「小海高校の生徒さんたちはここを通る時にいつも挨拶をしてくれます。とても爽やかで気持ちが良いです。」とおっしゃっていました。それを聞いた私もなんだか爽やかな気分になりました。

本校のホームページにも載っていますが、生徒会の諸君の長年にわたる地域ボランティア清掃活動がJR東日本長野支社より表彰を受けました。地道な活動の成果です。

このように諸君の言動が、地域や諸君を支えて下さっている方々の気持ちを爽やかにしています。人は気持ちで動くもの。元気な声で挨拶をすれば爽やかですし、清掃をして環境を整えればそれも爽やかな気持ちになります。

それとは逆に挨拶もしなければ清掃もしない、ということだったらまわりは諸君をどのように評価するのでしょうか？少し考えれば分かりますよね。駅などを見回ると時々ゴミが散らかっていることがあります。通学路にもゴミが落ちています。中には本校の自販機の紙コップが捨てられている場合もあります。生徒会の諸君が清掃をしているのに、同じ学校の生徒が散らかしているのは残念です。ゴミはゴミ箱へ。これが基本です。

挨拶、清掃、学習。生徒諸君の言動が学校の中心。その自覚を持って爽やかに行きたいものですね。



「頑張る」とは「顔(が)んを貼(は)る」

先日テレビを見ていると大震災の被災地の方が出ていました。自宅の土台から30メートルほど建物が流されている。「家を建て直してここに住むつもりですか？」というレポーターの問いに「いいえ住みません。もうここには住みたくありません。」と答えていました。「思い出も何もかも流されてしまいました。だから住みたくありません。」その発言と表情に私はあらためて被災地の方々の精神的な喪失感を思い知らされた気がしました。

その番組の最初から気づいてはいましたが、被災者の方々に笑顔はありませんでした。笑顔を作る余裕すらなかったのでしょうか。聞くところによると被災地には「音」がないそうです。日常生活の営みの音がない。そして「笑顔」がない。

その番組は被災地に笑顔をということをテーマにした写真家の方を取材する番組でした。さすがプロのカメラマン。被災地の方の話の聞きながら、何気ない表情の中から最終的に「笑顔」を引き出したのでした。その笑顔の写真を本人に渡すところで番組が終わりました。そして被災者の方のコメント。「頑張るって『顔(が)んを貼(は)る』ってことなんだよね。私たちが苦しくても顔に笑顔を貼り付けて生きていかなければね。」

苦しい時こそ笑顔で生きていかなければならないのかもしれないかもしれませんね。

日常生活チェックシート

普段から、どのくらい気をつけているか チェックして下さい。

- | | | |
|--|-----------|------------|
| 1. 挨拶は大きな声で相手の目を見て出来ていますか？ | はい
() | いいえ
() |
| 2. 「ありがとう」という感謝の気持ちをきちんと言葉と行動で表せていますか？ | はい
() | いいえ
() |
| 3. 期限内に提出物はきちんと提出していますか？ | はい
() | いいえ
() |
| 4. 朝は自分で決まった時刻に起きていますか？ | はい
() | いいえ
() |
| 5. 登校前に一日の予定が分かっていますか？ | はい
() | いいえ
() |
| 6. 朝食、昼食、夕食はきちんと食べていますか？ | はい
() | いいえ
() |
| 7. 集合時刻には遅れずに行動出来ていますか？ | はい
() | いいえ
() |
| 8. 自分の持ち物はきちんと整頓出来ていますか？ | はい
() | いいえ
() |
| 9. 忘れ物はしていませんか？ | はい
() | いいえ
() |
| 10. 夜更かしはしていませんか？ | はい
() | いいえ
() |

「はい」が多いほど日常生活が安定している

※カッコ内に「はい」「いいえ」の数を書いて下さい

はい = ()	いいえ = ()
----------	-----------